大分県ＰＴＡ
はぐくむ
発行所
大分市大字下郡496-38
大分県教育会館2F
大分県ＰＴＡ連合会
☎(097)556-9055
責任者　冨永大輔
印刷所　大分市下郡3154の22
九州凸版印刷株式会社

# 力強く生きる力を持つ子に

## ～子育ての原点は家庭にあることを意識した活動を～

大分県ＰＴＡ連合会
平成26年度
第66回 定期総会

平成26年度大分県ＰＴＡ連合会定期総会が6月6日、広瀬勝貞大分県知事（代理島田勝則大分県総務部長）をはじめとする多数の来賓を迎え、県下16郡市等Ｐ連の代議員と被表彰者を含む約一〇〇名が出席して県教育会館で開催された。

子育ての原点は家庭にあることを意識した活動を中心に「心豊かで正しい判断力を持ち、困難を切りひらくたくましい子どもの育成」を目指し、総力を結集することを宣言した。

あいさつする冨永県Ｐ連会長

### 郡市Ｐ連の活動をサポート

はじめに、冨永大輔県Ｐ連会長は「地球のあらゆる場所で起こっていることがすぐさま世界に伝達できる情報社会の急速な進展は、政治・経済そして教育にも大きく影響を与える。この社会情勢の中で、力強く生き抜く資質を持つ子どもを育てることは私たち保護者に求められている大きな使命である。そのような課題に対し、県Ｐ連としても主体性を持ち、連携を強め、課題解決を果たしていかなければならないと思っている。取組のひとつとして子育ての基本は家庭にあるとの思いから『保護者心得六箇条』を作成している。自らの子育てを振り返り、子どもは自分を映す鏡だと思って、日々の子育てに生かしてほしい。子どもの将来の安心・安全を、学校・地域だけに委ねず、子育ての楽しさを実感する魅力あるＰＴＡ活動を。ＰＴＡの基本は単位ＰＴＡであり、子どもたちの活動・成長の基盤は、学級にあると認識している。特色ある郡市Ｐ連の活動をしっかりサポートできる県Ｐ連でありたい」とあいさつした。

### 子育てを支える環境づくりを

続いて、ＰＴＡ活動に貢献した由布市立庄内中学校Ｐほか15団体と、和田俊二県Ｐ連副会長をはじめとする個人35名に表彰状、5名に感謝状が贈られた。

次に、広瀬勝貞県知事（代理島田勝則大分県総務部長）をはじめ、近藤和義大分県議会議長、野中信孝県教育長（代理大城久武県教育次長）の来賓祝辞があり、広瀬知事は「県民の皆さんが安心して心豊かに過ごすことができる大分県づくりを目指し県政を推進している。中でも子育て満足度日本一の実現を目標として、社会全体で子育てを支える環境づくりに引き続き取り組む。また、来年4月の開館にむけて県立美術館の建設も進んでいるが、芸術・文化の総合施設として、県民と共に成長する大分らしい美術館を目指している。県Ｐ連には、家庭・学校・地域をつなぐ要として県民総参加で子育てに取り組む大分県づくりをリードしてもらいたい」と述べた。

冨永会長と被表彰者の皆さん

### 平成26年度の役員紹介

会長
冨永　大輔　大分市

副会長
横松　寛二　中津市
太田宗一郎　大分市
疋田　啓二　佐伯市
廣瀬多賀子　佐伯市

参与
村上　勉　教師代表(小)
本田　雄二　教師代表(中)

理事
渡部　修士　豊後高田市
城　徹弥　宇佐市
笠木　隆弘　別府市
太田　睦子　杵築市
幸野誠一郎　日出町
阿部　輝義　国東市・姫島村
川野　雄一　臼杵市
河島　健吾　津久見市
高野　誠　由布市
佐藤　龍太　竹田市
衞藤　信彰　豊後大野市
和田　浩二　日田市
吉光　巧一　玖珠郡
国実喜久子　別府市
中野　典子　大分市

会計監査委員
池部　英明　日出町
髙橋　義孝　由布市
山田　孝俊　佐伯市(T)

顧問
池内　晴一　竹田市

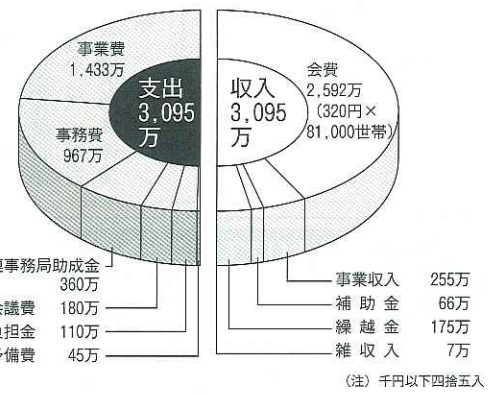
相談役
藤田千克由　大分市

議事に入り、平成25年度会務報告・活動の成果と課題・収支決算報告があり、平成26年度基本方針・スローガン・活動目標・事業計画案・収支予算案が出され、いずれも拍手で可決承認された。

その後、選考委員より役員改選について報告され、冨永大輔現会長が再選承認された。副会長の任命に続き理事も承認され、新体制が整った。

旧役員のあいさつのあと、新役員が紹介され、代表して冨永会長が「大分県Ｐ連も今年66回目の総会を迎え、今年度も今のメンバーで出来る最高の活動をしていく。そのためにも皆様のお力添えをお願いします」と抱負を述べ、総会は滞りなく終了した。

### 平成26年度一般会計予算



（注）千円以下四捨五入

**県ＰＴＡ会費は**
一世帯あたり450円で、単位ＰＴＡごとに一括納入となっています。320円が県Ｐ会費で、130円はＰＴＡ安全補償制度の掛金として支払われ、一般会計の収支に含まれていません。

### 平成26年度の主な行事

▼県Ｐ全単位ＰＴＡ会長研修会
7月26日(土)　県教育会館

▼第62回日本ＰＴＡ全国研究大会　長崎大会
第59回九州ブロックＰＴＡ研究大会　長崎大会
8月22日(金)～23日(土)

▼県ＰＴＡ指定研究校
発表校（平成25・26年度）
・大分市立稙田東中学校
11月9日(日)
・中津市立三郷小学校
11月16日(日)
・津久見市立青江小学校
11月22日(土)
研究校（平成26・27年度）
・国東市立富来小学校
・豊後大野市立朝地中学校
・大分市立大在小学校

▼教育問題懇談会
11月7日(金)

▼第23回県ＰＴＡ研究大会
別府地区国東・姫島大会
平成27年1月25日(日)

### 研北心寸

▲小中学生の頃の夏休みは猛暑旱天の毎日だったように記憶している。が最近はキッチリした季節の変化も不安定になってきた。私たちはどこまでも自然を相手に人間生活を営まねばならない▲臨海、林間学校の夏休みを心待ちにしたものである。そこは日常より少し不自由不足の生活体験の中で友人と対話し自然と対決する時と場であった。何よりも非日常の中での友との起居振舞や遊山海水浴が楽しかった▲時移って何事も全てがスマートになった。わざわざ避暑地に行かなくても、高地の冷風(?)の利いた家で過ごしキャンピングカーで夏海を楽しむ家庭もある▲人里離れた海山の生活で緊急事態の引率者の対応は今も昔も同じだ。スマートフォンや携帯のない時代はさぞややきもきされたに相違ない。その時の人と人とのやりとりと行動は顔色を見、手足を使っての瞬時を懸けた対応であらねばならない▲この行動の実践力養成の基本は何だろう。それは人の顔色と行動をすばやく読み取り、自分がすべきことをすばやく的確に判断し行動する力である▲今や私達一人ひとりに緊急事態への対応力と心懸けが人間として必要になってきた。救急車や消防車を呼べばいい、トラブルは裁判で…結局、素は人の力である▲電車の中の風景は一変した。人は皆下向きで自分の画面を見て自分だけの世界と時を過ごしている。これ本当にスマート？▲自己陶酔でなく肩を挙げ正眼の構えで自分以外の人が醸成する周囲空間を学んで欲しい。今夏は臨海林間の風の中でスマート時代の集団的自衛や自国のあり様でも一考したら如何？

## 平成26年度 県Ｐ連 幹部研修会

# 一人ひとりの意識を高め 実りある活動を

県Ｐ連幹部研修会が、6月20日㈮、大分市コンパルホールで開催された。県内16郡市の県Ｐ連理事、母親代表、事務局長の52名が出席。理事会、各専門部会、合同研修会が行われ、実りある一日となった。

### 理事会

会員一人ひとりの意識を高め、強い連帯感をもってＰＴＡ活動が行われるよう、幹部が一堂に会し研修を深める。またリーダーとして自覚し、ＰＴＡ活動のよりいっそうの充実と発展に資することを趣旨とする研修会。

理事会では、県Ｐ連事務局より日Ｐ・九Ｐの報告が行われ、続いて、定期総会などの県Ｐ連各種行事について経過を報告。また、各専門部会・特別委員会の設置と、それぞれの懸案事項について協議され、内容の共通理解を深める場となった。

理事会のようす

### 合同研修会

合同研修会では、後藤榮一県教育庁義務教育課課長が講演を行った。

講演要旨
「大分県の学力についての分析と考察」

県教育委員会では、子どもたちが夢に挑戦し、自己実現できるための確かな学力を育成するため、全国学力・学習状況調査の平均正答率を小・中学校とも、平成27年度までに九州トップレベルにするという数値目標を掲げて取り組んでいる。

全国学力調査の結果は左の表のとおり。

全国順位の推移

| 年度 | 小学校 全国（九州） | 中学校 全国（九州） |
|---|---|---|
| H19 | 44位（7位） | 32位（4位） |
| H20 | 37位（5位） | 37位（4位） |
| H21 | 40位（6位） | 40位（6位） |
| H22※ | 41位（6位） | 42位（7位） |
| H24 | 31位（5位） | 34位（4位） |
| H25※ | 24位（4位） | 36位（4位） |

※H22・H24＝抽出調査年度

平成19年度の結果を受け、小学校では学力向上支援教員の配置や、小学校4・5年生を対象とした夏季休業中の算数補充学習指導を導入。また、算数・国語の問題データベースの配信等の対策を講じた。その結果、平成25年度の全国学力調査では小学校は過去最高の順位となり、九州トップレベルという目標水準で見るなら、ほぼ達成といえる状態までこぎつけた。

対して、中学校は向上の兆しはあるものの、平成19年度の状況までには回復していない。現在、学力向上対策を具体化して改善に取り組んでいる。

また、学力に影響を与える要因として、学校・家庭・地域の連携した取組が必要である。そのため今年より「目標協働達成校」を指定し、学校の教育目標を家庭と地域で共有し取組を進める。

しかしながら、学力向上とはテストの点を上げることだけを目指しているのではない。子どもたちの学力、体力、心を磨き、自分の力で未来を切り開くための力をつけることが目的である。

## 一村一PTA ネットワーク⑯ 報

（16は県下郡市等Ｐ連の数）

豊後高田市　会員数　1,462人
ＰＴＡ数　16校

### 「姉妹ＰＴＡ」を締結し つながり、支え合う

豊後高田市ＰＴＡ連合会

「高田市」同士で交流を深めよう―。豊後高田市ＰＴＡ連合会は、奈良県の大和高田市ＰＴＡ協議会と姉妹ＰＴＡを締結した。両団体は今後、陸前高田市（岩手県）、安芸高田市（広島県）のＰＴＡ団体とも姉妹関係を結ぶ予定。4団体のつながりを「高田っ子くらぶ」と命名し、多分野での交流を企画していくという。

東日本大震災で被災した陸前高田市に対し、他の3市のＰＴＡ団体が募金や物資を送るなどしたことがきっかけ。「同じ『高田市』でより協力し合える関係になろう」と、ことし（平成24年）に入って準備を続けてきた。

#### 物心両面で被災地支援

豊後高田市であった姉妹ＰＴＡの調印式では、同連合会の木村幸二会長と同協議会の山辺敏治会長が文書にサイン。その後、スポーツや文化の交流、陸前高田市への支援など今後の活動についてそれぞれ意気込みを語った。

立会人を務めた河野潔豊後高田市教育長は「被災地支援は継続していく必要がある。姉妹ＰＴＡの締結で地域同士が物心両面で支え合う関係になれば」と期待を込めた。

7月22日には大和高田市の夏祭りに豊後高田と安芸高田の関係者が参加し、姉妹ＰＴＡを締結する予定。

木村会長は「これからいろいろな連携が始まっていく。お互いの子どもたちが行き来するような交流になれば」と話している。

高田の絆を深めて

#### さらなる再建を目指し

以上は平成24年の話しですが、平成25年度は、「不要になった本で陸前高田市の図書館再建の手助けをしよう」と各単位ＰＴＡで古本回収を行い豊後高田市で五万六千円余りを寄付することができました。

豊後高田市ＰＴＡ連合会
会長　田﨑　善範

## みんなでかんがえるコーナー

### 反抗期 どう接したらいいの？ ㉝

#### 心の隙間風

筍が旬の頃の老夫婦の会話。

妻が筍の煮付けを食卓にのせた。夫がそれを口にした途端「硬いのう！」と。すかさず「煮直しましょうか？」と、妻の言葉。夫の返答は「しなくていいよ」とのこと。

耳にしたこの話の会話を自問自答した結果は「？」である。

今、人間関係の緩みの情況を隙間風が大手を振っている。

この風、人の心に居心地よさそうにのさばっているようだ。人は、この風を見向きもしない。すっかり、根太くなっているかもしれない。

先の老夫婦には、互いの思いを刻み込んだ年輪がこの風を寄せつけなかったのだろう。

緩んだ関係性の中で隙間を埋めるためには、置き去りにされた「互いに向きあい、心を伝え合う」営みを浮き立たせなくてはならない。

「おもてなし」の心は「慮る（おもんぱかる）」こと。あれこれと思いを巡らすこと。

深く浸透させたいものだ。

「自分さがし」の途中の子どもたちには「向き合う心」の広がりの中心に自分が立っていることを知らせたい。

そのためには、面倒がらずに、会話の機会を探ること。

それは、親の考え方を伝える無言の風。隙間風がその冷風を温風の姿に変えて、身を包み込むのではなかろうか。

みんなで考えるコーナー室長
岩尾　淳一

## 専門部会

各専門部の主な協議内容は次のとおり。

【家庭教育部会】
・補償制度の充実・促進・パンフレット検討
・三行詩募集・審査
・「保護者心得六箇条」の検討・普及・推進

【学校教育部会】
・全単位ＰＴＡ会長研修会にむけて
・教育問題懇談会について

【母親部会】
・ＰＴＡ活動の情報交換
・平成26年度活動年間計画

家庭教育部会では、大分県ＰＴＡ連合会補償制度の加入促進を目指し、パンフレットの内容やＰＲ方法を協議。

学校教育部会では、7月26日に行われる全単位ＰＴＡ会長研修会について話し合われた。前年度行った会長経験者による講話会が好評だったため、今年も同じ講師を招き行う。また、ネットモラル講話も行い、充実した研修会になるよう内容を協議した。

## 県Ｐ情報

大分県ＰＴＡ連合会の事務局を紹介します。

事務局長　佐藤　直人（新任）
事務局員　濱地　京子
　　飯田　由華

## 編集後記

▼あたりまえのことをあたりまえにすることの難しさと素晴らしさを教わった。あたりまえの一日に感謝して今日も。▼市総体の応援に行った。3年生にとっては負けられない試合。気迫漲るプレーが光る。娘は今から本番。ガンバレ!!


大分県ＰＴＡ連合会補償制度
ＰＴＡ育英補償制度・ＰＴＡ自転車安全補償制度

もうすぐ夏休みです！
ケガや事故に注意して楽しく過ごしてください。

転入生の方・ご加入を忘れていた方
平成26年9月25日まで随時ご加入できます。
保険料・保険期間が変わりますので下記、フリーダイヤルまでお問合せください。

〈保険にかかるお問い合わせ・事故にあわれた時のご連絡先〉
0120-56-8993（コール ハグクミ）
（受付時間：月～金　9：00～17：00）
〈取扱代理店〉
はぐく美保険サービス株式会社
大分市大字下郡496-38　大分県教育会館２Ｆ
※上記時間以外はこちらにご連絡ください
24時間365日事故受付サービス「三井住友海上事故受付センター」
0120-258-189